

小学校と
地域をつなぐ

久根小コミュニティ通信



発行：久根別小学校学校運営協議会会長 細田 義昭

令和元年7月24日（水）第3号

見守り活動



登下校時に、校区内の交差点などの危険箇所、交通指導、あいさつなどの声かけを行う活動。

いつもあいさつや声をかけてくれて、ありがとうございます！
でも、時々、不審者が出るので、怖い時もあるよ…



夕方の時間帯にもう少し大人の監視の目があれば、さらに安心かな！

夕方5時の「あかとんぼ」の市内放送に合わせて、家の前に出て、子どもたちの様子を見ていただくだけで構いません。大人の姿があることで、十分な犯罪抑止効果があります。

いつも声をかけて見守ってくれて、

いつも色々な本を読んでくれて、

地域みなさん、**ありがとうございます！**



いつも
将棋やオセロなどの
相手をしてくれて、

読み聞かせ活動

お手玉、あやとり、コマ回しなどをおぼえたいな！



昔の遊びを教えてくれる方、大募集です。
ぜひ、遊びに来て教えて下さい！



朝や休み時間などに図書室にて子どもたちに読み聞かせを行う活動。

ふれあい活動



コミュニティ・ルーム（校舎内）で休み時間に子どもたちとふれ合う活動。

もっと本を読んでくれる回数が増えたらうれしいな！



読み手は今6人しかいないから、もっと人が増えると可能かな！



コミュニティ・スクール（CS）って、何？

法的根拠があります

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組みです。



どんな仕組み？

地域が学校運営に参画します

コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりすることができます。これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させ、特色ある学校づくりが進むことを期待できます。



意義

北斗市と久根別小学校の願い

学校と地域の主体的な取組を通して地域の活性化が図られることを願いとしています。地域と学校が連携することで、非行を防止し、犯罪や交通事故からも子どもたちを守り、保護者、子供たちの悩みなどを気軽に相談できる体制づくりを目指しています。



願い

まずはコミュニティルームに来てみませんか？

休み時間子供教室

- 子どもたちが地域の方との交流（語り合いや遊び）をしています。
- 子どもたち…地域の方や年配者との昔の遊びや会話を楽しむ。
 - 大人…参加者同士での会話や子供や孫の年代の子とのふれ合いを楽しむ。

コミュニティルームの開設について（毎週：火・金曜日）

- ～子どもたちとのふれ合いタイム～
10：10～10：30（中休み）
13：05～13：30（昼休み）
～大人同士の語らいタイム～
9：30～11：30
13：00～15：00

来校時間自由

来校したら…

- 職員玄関横のインターホンを押して、「コミュニティルームにきました。」とお伝え下さい(施錠中)。
- 玄関に入って左に2回曲がって看板を目印にお越し下さい。

